

THE SOUL OF MONOZUKURI

ものづくりの流儀

三菱重工グループのDNAが息づく
ものづくりの現場を紹介します。

撮影：西澤丞

三菱重工航空エンジン㈱
第6工場

精確な調整で実現する 寸分違わぬ復元

静けさに満ちた場内で、作業者たちは一枚の翼、一本の配線、一個のボルトを隈なく凝視している。ここ第6工場が担うのはV2500やPW4000などの航空機エンジンのメンテナンスだ。目視検査や蛍光浸透探傷検査により損傷を見極め、分解、修理、組立をしていく。求められるのは正常に稼働していた状態“そのもの”に戻す高い復元精度。たとえ同一型式でもナットの締め付け具合や配管の位置はそれぞれで異なるからだ。加えて調整する部品数は場合によっては4万点に及ぶ。こうした繊細かつ正確な調整作業の集積が安全という一つのゴールにつながっている。

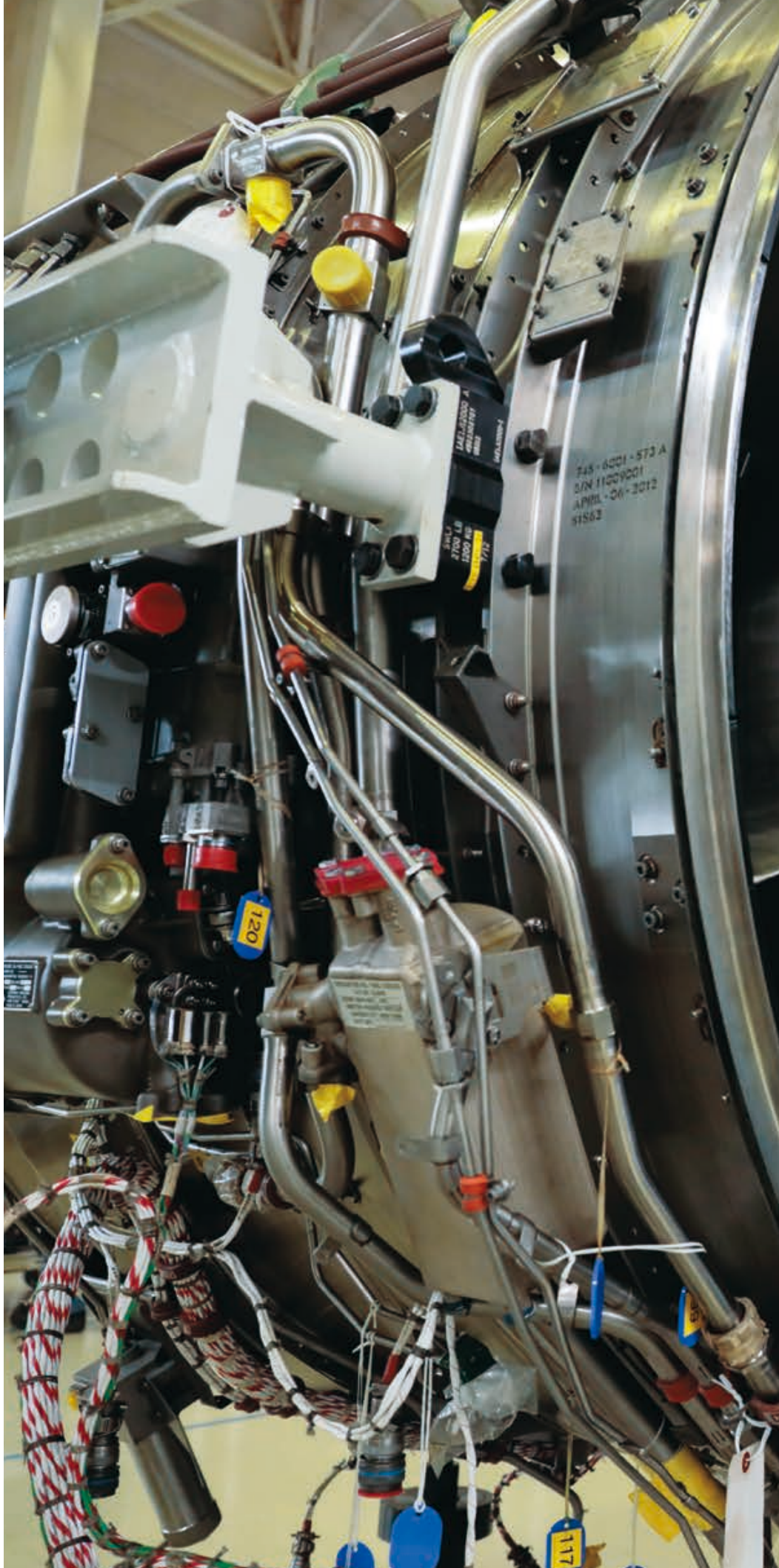
PRODUCT V2500シリーズ



日本、米国、ドイツ、イギリス、イタリアの5カ国による国際共同開発エンジン。主にエアバス社のA319、A320、A321に搭載されている。MHIAELでは2016年から本エンジンの整備事業を開始。

写真提供：一般財団法人
日本航空機エンジン協会

取材協力：三菱重工航空エンジン㈱
(MHIAEL) 民間エンジン製造部
組立・整備課 石原 秀記さん





エンジン
組立エリア

46